

## 終わりに当たり

良質堆肥を調整するという事は、与えられた条件下（気象、機械、施設、労力、堆肥の利用方法、時期等）で如何に上手く好気性菌を働かせるかということであり、その結果として次のような事が生じ、経営の健全化に大いに貢献することとなる。

- ① 家畜の防疫効果増
- ② 飼料基盤の雑草対策や地力増進
- ③ 上記に起因する薬品費及び資材費の削減並びに労力の軽減
- ④ 牧場周辺へ及ぼす環境問題の回避

健全な牧場運営を行うためには、家畜管理や飼料生産と並列して取り組まねばならない重要な業務が堆肥調製作業であり、この作業は単なる作業ではなく、正確な技術理論を理解していなければ成果が期待できない技術である。

最後にこうした視点から堆肥生産に携わる職員は、技術者としての高い意識を持ち作業に取り組んで戴きたいという願いを付して結びとする。

家畜改良センター 技術マニュアル 7

## 堆肥化処理の理論と実践Ⅱ

著 者／独立行政法人 家畜改良センター  
技術部 業務管理課 鎌田傳四郎

発 行／独立行政法人 家畜改良センター

発行日／平成14年 3 月

印刷所／不二印刷株式会社